



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿ノ台
ホームページ

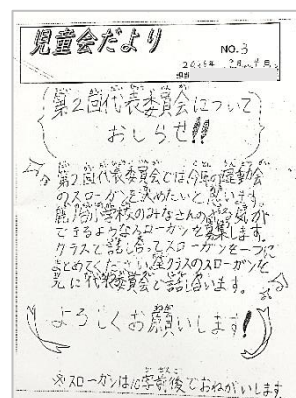
令和 8年 10月15日

第 14 号

心の炎を燃やしきれ 全力突破

今年の運動会のスローガンは、「心の炎を燃やしきれ 全力突破」です。今年も、児童会活動の中で、子どもたちが意見を出し合って決定しました。「鹿ノ台小学校のみなさんのやる気がでるようなスローガン」(児童会だより)をテーマに募集が行われ、全校の各学級で話し合った案が代表委員会に持ち寄られました。

代表委員会は 9 月 15 日の昼休みに行われ、3 年生以上の学級代表と各委員会の委員長が参加しました。児童会担当児童の進行のもと、集まった18個



【各クラスが考えたスローガンの案】

ここをつないでみんなでゴールへ
全力の心であきらめずにやりきる
みんなで力を合わせて優勝しよう
勇気をもって仲間とともに優勝の旅へ
心を合わせて力尽きずにみんなで優勝
さいごまで力を合わせてがんばる
あきらめずに最後までがんばろう!!
優勝目指して力を合わせてがんばろう!!
青空へ走りぬけみんなで優勝!!
力を合わせて優勝をつかめ
仲間と共に全力で楽しもう
赤青黄みんな一丸となって競い合おう
限界突破
笑顔あふれる最高の舞台
自分たちが主役みんなを信じて優勝へ
心の炎を最大に
全学年でつなぐバトン
翔け優勝の空へ

のフレーズについて話し合いが進められました。

代表委員会では、単純な多数決で1つに決めるのではなく、それぞれのフレーズに込められた思いや共通する思い、スローガンとして大切にしたい言葉などについて、理由とともに意見を出し合いました。その話し合いを踏まえて、児童会役員の児童がさらに検討を重ね、1つのフレーズにまとめ上げたものが、今年のスローガンです。

運動会練習が始まって3週間。各学年の競技練習はもちろん、全校練習や応援練習にも力が入ってきました。応援団が作成した応援紹介動画を活用し、のびのび班での応援

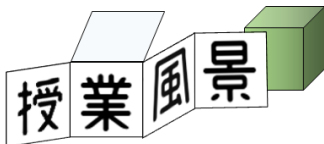
練習も行いました。応援の声もどんどん大きくなってきました。昨日、予行練習を終え、いよいよ今週末が本番です。一昨年、昨年と続けて天候に悩まされました。今年こそ天候にも恵まれますようお願いしています。



草刈りで すっきりさっぱり

10月3日には、育友会費による業者委託で運動場周辺の草刈りを行っていただきました。うっそうとしていたフェンス際も見違えるほどすっきりし、安全面や見通しも大きく改善されました。運動会を前に、よりよい環境を整えていただきましたことに感謝申し上げます。





空気でっぼうと水でっぼう

4年生の理科では、とじこめた空気や水の性質について学習します。空気でっぼうや水でっぼうを使った実験です。ある日、ピロティで飛距離を競うように水でっぼうの水を飛ばしているクラスを見かけました。さわやかな秋晴れの下、「よーい、ドン！」の掛け声とともにピストンを押し出すと、水は勢いよく飛び出し、植え込みの近くまで届くものもあります。

別角度からの画像へのリンクあり



また、筒に水を満たし、空気でっぼう用のスポンジ玉を先に詰めて飛ばす実験も行いました。「空気の代わりに水を入れたら玉はどのような飛び方をするのか」を調べる実験です。

次の学びにつながる「なぜだろう」

ところが、この準備がなかなか難しいのです。バケツの水を筒の中にいっぱい入れてスポンジ玉で栓



をしなくてはなりません。水でっぼうのように、筒の先を水につけてピストンを引いて水を入れますが、そのまま筒先を引き抜くと水はこぼれてしまいます。何度試しても、水でっぼうのときのようにはいきません。先生に教えてもらったり、うまくできている人のやり方をまねてみたりしながら、ようやく実験の準備が整います。

こうした場面で、うまくできないことは決して悪いことではありません。

「水でっぼうのときには水はこぼれなかったのに、どうしてこぼれてしまうのだろう」

そんな新たな問いが生まれるからです。なぜだろうと考えたり、うまくできている人はどうやっているのかなと周りを見たり、水でっぼうと空気でっぼうの筒先の形状の違いを見比べてみたり。理科的な見方や考え方を育む大切な学びがあるかもしれません。

さて、実験の結果はどうだったのでしょうか。期待していたような飛び方にはならず、肩透かしを食ったような表情を見せる子や首をかしげる子の姿も見られました。

この「なぜだろう」が次の学びにつながることでしょう。

(余 談) 写真を撮らせてもらっていると、「校長先生、ぼくたち『鹿小だより』に載る？」と訊ねてくる子がいました。翌日に教室をのぞきに行くと、「いつ載るの？」と再び訊ねられます。はい、しっかり書かせていただきました!!

